

令和3年度 学校評価アンケート〈第2回〉(教職員)

令和4年1月14日実施

	項 目	R3 第2回	R3 第1回	R2 第2回	R2 第1回
(1) 人間力の育成					
1	「学習を基軸に据えた部活動との両立」を果たし、健康管理のできるタフな人間性を育むことができています。	3.0	3.0	3.1	3.0
2	挨拶、掃除、容儀の指導を通じて、豊かな品性、南高生としての自覚と誇りを育むことができています。	3.1	3.0	3.1	3.0
3	時間や期限の厳守、三点固定による生活リズムの確立を通じて、自信心を育てることができています。	2.9	2.9	3.0	2.9
4	清掃活動等の指導を通じて、感謝の気持ちや公共心、公德心を育てることができています。	3.0	2.9	3.0	2.9
5	学校行事、生徒会活動、HR活動、部活動等を通じて、自主性や主体性を育むことができています。	3.4	3.2	3.2	3.3
6	生命の尊厳と人権を尊重する精神を理解させ、平和な社会を構築していく意志を育ませることができています。	3.2	3.4	3.4	3.2
7	特別支援学校との交流活動を通じて、人間愛と共生の心、自他共に思いやる心を育ませることができています。	2.0	2.0	3.3	3.1
(1) 平均		2.9	2.9	3.2	3.0
(2) 学びの体幹強化と進路実現					
1	各学年の導入期について、教材開発や授業規律の徹底など、組織的・計画的な指導を行うことができています。	3.0	3.2	3.4	3.1
2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICT機器の積極的な活用を推進するとともに、一人一台端末の効果的な使用方法についての研究を図ることができています。	3.5	3.6	3.2	3.0
3	総合的な探究の時間を軸にした教科横断的な探究活動を通して主体的に学ぶ態度を育成し、多様性・協働性の高揚を図ることができています。	3.1	3.3	3.1	2.9
4	学力検討会、成績分析会を通じて、授業改善(授業のPDCAサイクルの確立)に取り組むことができています。	3.1	3.2	3.2	3.2
5	生活の記録をコミュニケーションツールとしても活用し、自らを鍛え伸ばす学びの姿勢を定着させ、自信心を育成することができています。	2.7	2.7	2.9	3.0
6	「朝の読書」を通じて、感性を伸ばし価値観を広げ思考力を向上させ、基礎的学習能力の拡充を図ることができています。	2.9	3.1	2.5	1.9
7	総合的な探究の時間、卒業生による進路講演会、大学等のオープンキャンパスへの参加を通じて、進路選択能力の育成を図る。また、早期に総合型選抜・学校推薦型選抜の指導に取り組むことができています。	3.0	3.2	2.7	2.7
(2) 平均		3.0	3.2	3.0	2.8
(3) 保護者・地域の期待に応える学校づくり					
1	海外研修、高大連携事業、朝の読書、Sプロ、南高祭、朝の挨拶運動など、本校の特色ある教育活動をさらに進化させることができています。	2.7	3.0	2.8	2.9
2	育友会活動への積極的支援、保護者との連携、相互理解をいっそう深めることができています。	2.8	3.0	2.9	3.2
3	安全・安心でより豊かな教育環境を整備することができています。	3.3	3.3	3.2	3.2
4	アンケートや面談、観察による生徒理解に努めるとともに、特別な配慮や支援が必要な生徒に対しては、スクールカウンセラーを含めて、教育相談委員会、特別支援教育委員会等の組織的な対応と支援を行うことができています。	3.4	3.6	3.4	3.2
5	ホームページやメールメイト、学校だより「緑柏」、「学年だより」等を通じて情報発信に努めるとともに、中学校や地域との連携を深め、更なる南高の良さ・魅力を高めることができています。	3.3	3.3	3.5	3.6
6	ユネスコスクールの認可を受け、「世界や地域の持続可能な社会の担い手に必要な、誠実で心身ともにたくましい人材を育成する」の理念のもと特色ある教育活動を研究し、更なる本校の魅力化を図ることができています。	2.8	2.9	2.8	2.9
7	同窓会・育友会・学校・生徒会が一体となって、更なる愛校心・母校愛・求心力を高め、学校の活性化を図ることができています。	3.0	3.1	3.2	3.3
(3) 平均		3.0	3.2	3.1	3.2
(4) その他(重点努力目標以外の項目)					
1	適切な年間学校行事の設定がなされている。	3.2	3.3	3.3	3.2
2	生徒が希望する進路実現のための教育課程の編成やクラス編成をすることができています。	3.1	3.1	3.1	3.2
3	生徒の健康管理や安全管理に関する指導が適切に行われている。	3.4	3.4	3.4	3.4
4	部活動の指導は、ガイドラインに則り、適切に行うことができています。	3.4	3.5	3.4	3.3
5	教職員・生徒は校内の美化のために積極的に取り組んでいる。	3.1	3.1	3.0	2.9
6	防災や来校者のチェック体制などの危機管理体制が整っている。	3.2	3.3	3.1	3.0
7	生徒および職員に対するハラスメントを防ぐ体制が整っている。	3.4	3.4	3.3	3.4
(4) 平均		3.2	3.3	3.2	3.2
総平均		3.1	3.1	3.1	3.1

※ 評価基準 ① そう思う(4点) ② ややそう思う(3点) ③ あまりそう思わない(2点) ④ そう思わない(1点)

令和3年度 学校評価アンケート集計結果（生徒）

令和3年12月24日実施

	評価項目	1年	2年	3年	全体	前年
1	学校は、校訓「自彊自律」「和敬禮節」に基づいて指導している。	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4
2	学校は、生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	3.4	3.2	3.4	3.3	3.4
3	学校は、落ち着いた雰囲気、学びやすい環境である。	3.4	3.2	3.2	3.3	3.2
4	学校は、生徒の進路目標達成のために、適切な学習指導体制を整えている。	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5
5	学校は、将来の進路や職業について、熱心な指導を行っている。	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5
6	学校は、生徒の安全や健康に配慮しながら指導している。	3.5	3.4	3.4	3.4	3.5
7	学校は、マナー・服装などの生活態度について適切に指導を行っている。	3.5	3.4	3.4	3.4	3.6
8	学校は、行事等を通して、多様な経験をし、心を豊かにする教育を行っている。	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5
9	学校は、部活動が盛んで、活気がある。	3.7	3.6	3.8	3.7	3.7
10	学校は、地域清掃などのボランティア活動に積極的に参加している。	3.0	2.9	3.2	3.1	3.3
11	学校は、人権を尊重し、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5
12	学校は、必要な時に教員やカウンセラーが相談に応じる体制を整えている。	3.5	3.4	3.6	3.5	3.6
13	学校は、清掃が行き届いている。	3.2	3.0	3.0	3.1	3.0
14	学校は、施設・設備の安全に配慮した環境整備を行っている。	3.3	3.2	3.4	3.3	3.3
総平均		3.4	3.3	3.4	3.4	3.4

※ 評価基準 ①あてはまる(4点) ②だいたいあてはまる(3点) ③どちらかというにあてはまらない(2点) ④あてはまらない(1点)

回収件数	221	211	218	650
在籍者数	221	214	222	657
回収率(%)	100.0%	98.6%	98.2%	98.9%

令和3年度 学校評価アンケート集計結果（保護者）

令和3年12月20日（月）～24日（金）実施

	評価項目	1年	2年	3年	全体	前年
1	学校は、校訓「自彊自律」「和敬禮節」に基づいて指導している。	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2
2	学校は、生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1
3	学校は、落ち着いた雰囲気、学びやすい環境である。	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2
4	学校は、生徒の進路目標達成のために、適切な学習指導体制を整えている。	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2
5	学校は、将来の進路や職業について、適切な指導を行っている。	3.1	3.1	3.2	3.1	3.2
6	学校は、生徒の安全や健康に配慮しながら指導している。	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
7	学校は、生徒の人権を尊重しながら指導にあたっている。	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
8	学校は、マナー・服装などの生活態度について適切に指導を行っている。	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3
9	学校は、行事等を通して、多様な経験をし、心を豊かにする教育を行っている。	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
10	学校は、部活動が盛んで、活気がある。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4
11	学校は、地域清掃などのボランティア活動に積極的に参加している。	2.9	2.8	2.8	2.9	3.0
12	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3
13	学校は、必要な時に教員やカウンセラーが相談に応じる体制を整えている。	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2
14	学校は、清掃が行き届いている。	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2
15	学校は、施設・設備の安全に配慮した環境整備を行っている。	3.2	3.3	3.2	3.2	3.3
16	学校は、学校行事や教育活動について保護者や地域に情報提供を行っている。	3.1	3.2	3.2	3.1	3.2
17	学校は、育友会活動に協力的であり、連携がよくなされている。	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2
	総平均	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2

※ 評価基準 ①あてはまる（4点） ②だいたいあてはまる（3点） ③どちらかというあてはまらない（2点） ④あてはまらない（1点）

回収件数	196	204	173	573
在籍者数	221	214	222	657
回収率（%）	88.7%	95.3%	77.9%	87.2%

(別添2-2)

令和3年度 長崎県立佐世保南高等学校 学校関係者評価 報告

1 評価の実施期日・場所等

○日 時 令和4年3月2日(水) 13:30~14:40

○場 所 佐世保南高等学校 校長室

2 学校関係者評価委員

委員氏名	学校評議員 との兼務	当日の 出欠	備考
喜多 整吾	有	出席	
榎尾 吉嗣	有	出席	
石橋 和弘	有	出席	
清田 倫子	有	出席	

3 学校関係者評価の内容

(1) 自己評価の結果について

○生徒評価の「心を豊かにする教育」、「部活動が盛んで活気がある」が高くなっており、これは学校の魅力である。

○生徒評価と保護者評価の数値に乖離が見られる項目も多いが、学校での実践について、保護者や地域に対する情報発信がもっと必要である。

(2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善策について

○ICT機器を積極的に活用して、基礎的な学習能力を高めながら、自ら学ぶ姿勢を身につけさせて、自らを律することができる生徒を育成していただきたい。

○保護者・地域の期待に応える学校づくりのために、全教職員で地道に継続して取り組み、文武両道の結果を出すことができるように尽力していただきたい。

(3) 学校の重点目標や自己評価の評価項目について

○数値による評価項目以外にも、その他にアンケートに自由記述欄があれば、参考になる意見があり、その意見を学校運営に生かすことができる。

(4) 学校運営の改善に向けた実際的な取組について

○地元企業との商品開発は素晴らしいことだと思う。さらに他校に先駆けて南高独自の取り組みを編み出してもらうことを期待する。

○生徒が高校生活を振り返り、「自分自身に満足している」と言えるような3年間を送れるように学校・保護者が協力して学ぶに相応しい環境を整えていってほしい。